

地方独立行政法人市立吹田市民病院第 4 期中期目標に対する  
令和 7 年 11 月定例会での主な質疑事項等について

1 主な質疑事項

- (1) 高齢化に伴う医療需要への対応方針
- (2) 財務状況の健全化だけでなく公的な役割を重視した今後の計画策定
- (3) 財務状況の分析と経営改善の取組
- (4) 患者へのアンケート結果を踏まえた満足度向上に資する取組
- (5) 手話通訳者の常時配置など市主導で合理的配慮を推進する必要性
- (6) 国立循環器病研究センター以外の近隣病院との連携
- (7) 様々な職種に配慮した職場環境の整備

2 主な意見

- (1) 公立病院が果たす役割として特に救急医療、小児医療、周産期医療については着実な実施を求める。
- (2) 合理的配慮への対応として、具体的な取組内容が見えにくい。市民病院だけの問題ではなく、市の福祉施策として庁内関係部署との連携も必要なのではないか。
- (3) 福祉保健施策については「協力・連携」という表現になっているが、公立病院の果たす役割について市民病院に求めていくことが必要。
- (4) 休日昼間の小児救急、障がいのある方の検診や入院の受入を実施してほしい。
- (5) 在宅療養後方支援病院として、緊急時の受入に対応してほしい。
- (6) 無料低額診療の実施や、性犯罪性暴力被害者のための支援センターを目指すことを検討してほしい。
- (7) 旧病院跡地について、市民病院の財政状況を考慮して早期の対応を求める。
- (8) 声の箱に寄せられた患者からの意見について、院内での掲示だけでなく市民病院のホームページで公開してほしい。

3 結果

令和 7 年 12 月 22 日付で承認の議決を得る